

道徳通信かがわ

第7号
平成27年1月19日(月)
香川県教育委員会事務局
義務教育課

香川の教育づくり発表会 坂出市立坂出中学校

平成26年12月26日、丸亀市綾歌総合文化会館（アイレックス）にて香川の教育づくり発表会が開催されました。道徳教育関係では、坂出市立坂出中学校が「教育活動全体を通して育成する道徳的実践力」をキーワードに大ホールステージにてポスターセッションを行いました。

これまで坂出中学校が行ってきた生徒会活動の充実を基盤にした道徳の時間の学習の充実を目指し、本年度は特に教員の授業力の向上に重点を置いて進めている研究について発表がなされました。教職員全体を4つの部会に分け、部会毎の役割分担と提案・実践、道徳の時間における指導体制づくりの2点について、具体的な説明がありました。

早ければ平成30年度に始まる道徳の時間の教科化を踏まえ、坂出中学校のポスターセッションへの関心も高く、たくさんの方が参加されました。発表後のフリーディスカッションタイムでは、中学校での道徳の実践について、より具体的な質問や率直な意見交換がなされており、道徳教育に対する意識の高まりを感じました。



【発表の様子】



【取組の発表】



【全体での意見交換】



【個別の意見交換】

総合授業カリーダー 公開授業 その4



平成26年12月10日、道徳の総合授業カリーダー、まんのう町立満濃中学校 大平 希 指導教諭の公開授業があり、小中学校の先生方28名が参観しました。

内容項目3-1 生命尊重 を取り上げ、生命について多面的に考えさせるために、「いのち」の学習として5時間を設定し、指導を積み重ねた5時間目を公開いただきました。教師の発言を精選し、ワークシートや板書を埋めることよりも、生徒の意見を引き出すことに重きが置かれており、「全員参加の授業」を目指して

いらっしやる大平先生の思いを感じる授業でした。

授業後の話し合いでは、話し合いやペア活動に、学習課題等について意見交換がなされました。小学校勤務の先生から「授業中の関わり合いを学びに来ました」との意見も出され、道徳教育を小中学校の9年間でとらえることの大切さを感じる話し合いとなりました。

※詳細は、義務教育課 HP「総合授業カリーダー 名場面集」で公開されています。

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyouji/gimu/gakuryoku/jugyoleader/index.html>



平成 27 年度 道徳教育総合支援事業

について



県教育委員会では、国の委託を受け、道徳教育総合支援事業を展開しています。

現在、道徳教育関連の研究指定校事業は中学校だけで行っていますが、平成 27 年度は、小学校や中学校区にも対象を拡大して実施する予定です。

現在の研究推進校からは、「校内全ての教員が協力して研究が進められ、教員の指導力向上に効果があった」「道徳の授業に取り組むことで、生徒が道徳の時間を楽しみにするようになってきた」との評価をいただいています。教科化を控えた今こそ、自校や中学校区での道徳教育を見直すチャンスです。

主管課	事業名と概要	対象	予算額 支出予定区分	H26 年度 香川県状況
教育課程課	<p>◎道徳教育総合支援事業</p> <p>[事業概要]</p> <p>学校・地域の実情等に応じて主体的に行う特色ある道徳教育の研究</p> <p>「新ふるさと心」「私たちの道徳」の効果的な活用 又は児童生徒の自尊感情を高めるための取組を含む。</p>	中	1 校当たり 15 万円程度 [委託]	高松市立龍雲中学校 坂出市立坂出中学校 三豊市立高瀬中学校
		<p>拡大 小</p>	1 校区当たり 30 万円程度 [委託]	



上記の内容（事業概要）について、中学校区内の小中学校が連携した道徳教育を推進してください。なお、小学校は、校区内の全ての小学校でなくても可とします。